

4-3	コロナは、なぜ世界経済に猛威を振るう“不平等ウイルス”なのか？	所属 東京都立井草高等学校 氏名 杉浦 光紀
資料名	①毎日新聞社説「米国社会と差別 克服への努力を粘り強く」(2021/5/31) ②オックスファム・インターナショナル報告書(2021、2020) https://www.oxfam.org/en/research/inequality-virus ③日米欧の金融政策出そろふ 緩和マネーが株価底上げ(サンケイビズ) https://www.sankeibiz.jp/macro/news/210319/mca2103191928034-n1.htm	
資料内容	○「ウイルスは人を選ばない」というが現実には、経済的な格差も影響する。米国では、コロナによる黒人の死亡率は、白人の2倍。ワクチン接種率は低く、コロナによる失業率が高い。 ○ 世界の経済格差をコロナが助長。世界の最富裕層10人は、富を5兆ドル増やす。これは、すべての人にワクチンを支払い、貧困を改善することができる金額である。 ○ コロナによる不景気を下支えするために、各国の中央銀行が金融緩和し、株価を押し上げてきている状況がある。	
教科書等との関連	中学校公民的分野 グローバル化 金融 高等学校公民科 グローバル化 金融 国際社会における貧困や格差	
キーワード	コロナ 貧困 格差 金融	
ねらい	◆コロナ感染症が拡大する経済的不平等から金融資産や産業の構造を理解する	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	発問 ①経済格差は、コロナ感染症の影響にどのように作用するのか。 ②コロナなどパンデミックは、世界経済の格差をどのように拡大するのか。 解説 経済的な格差は、居住環境や医療へのアクセス等の差につながり、コロナによる被害や失われる人命にも影響するのが現実である。日本は、 国民皆保険制度 により、どこの医療機関でも診療を受けることができるが、米国では違う。 世界の経済格差 は、すでに想像以上である。たとえば、最富裕層2153人の富の合計が、世界の総人口の6割にあたる約46億人分の資産の合計を上回り、資産を持つ富裕層2153人の富の合計が、世界の総人口の6割にあたる約46億人分の資産の合計を上回る。コロナのパンデミックが始まって以来、最も裕福な10人の男性は、彼らの富を合わせて5兆ドルも増加させている一方で、最悪の雇用危機が引き起こされていることで、格差は拡大すると考えられる。(オックスファム・インターナショナル報告書(2021、2020)を参考) 世界の経済格差を拡大する要因として、まず、コロナにより利益を上げた産業(デジタル関係など)と下げた産業(飲食業など)が二分される状況(K字回復)があげられる。次に、日本銀行をはじめとする各国の 中央銀行 が世界経済の景気を下支えするために、 金融緩和 を進め、それが長期化している。緩和により金融市場に流れ込んだマネーが株などの 金融資産 の価値増大が、金融資産を所有するものとしめないものとの格差拡大に影響していると考えられる。ちなみに、日本銀行は投資信託の引き受けなどの手法も用いて、金融緩和を進めている。	
備考	これまでの経済危機、金融危機などへの政府の対応と、今回のコロナ・パンデミックの対応を比較して考えさせることもできる。 SDGsのゴール1、3、10に関連させて深めることができる。	